

修多羅小学校・古前小学校

# 統合準備委員会だより

第7号

11月16日(月)に開催された第7回統合準備委員会では、「学校名(案)の決定理由」、「校歌・校章」「統合後の学校の教育課程」についての協議を行いました。

## ☆ 学校名(案)の決定理由について ☆

第6号統合準備委員会だよりで統合準備委員会案としての新しい学校名は「くきのうみ小学校」に決定したことをお知らせしましたが、今回は、「くきのうみ小学校」に決定した理由について、皆様にお知らせします。

### 決定理由

修多羅・古前地区は高塔山と洞海湾に囲まれた自然豊かな地域である。

校名の由来となっている洞海湾(古名「洞海(くきのうみ)」は、北九州市の産業の発展に大きく寄与するとともに、公害を克服した歴史をもつ「環境未来都市」である北九州市を象徴するものである。

修多羅小学校と古前小学校の統合により誕生する新しい学校は、子どもたちに修多羅・古前の歴史を受け継ぎ、ふるさとへの誇りを胸に、新しい歴史をつくってほしいという願いをこめ、「くきのうみ小学校」に決定した。

## ☆ 校歌・校章について ☆

校歌・校章制作の今後のスケジュール案について事務局から提案がありました。12月の統合準備委員会では、校歌・校章の制作者を決定する予定です。また、12月から1月にかけて、児童・保護者・教職員を対象に、学校を通じて「校歌の歌詞に入れたい言葉」についてのアンケートを実施する予定にしています。

## ☆ 統合後の学校の教育課程について ☆

統合後の特色ある教育課程(案)について、委員(校長)から次のような報告がありました。

「今後、教育をめぐる情勢の変化等様々な理由により変わる可能性もあるが、現時点では、『地域の人・もの・ことを生かした教育』と『環境教育』を柱とすることを考えている。

前者については、両校のこれまでの教育活動において、様々な場面で地域の方々と交流する学習が組まれており、統合後の新しい学校にとって、子どもたちと新たな地域をつなぐという意味でも大変重要と考えている。

後者については、北九州市は環境未来都市であり、持続可能な社会・SDGsの先進的な取組も行っている。統合後の校区は北側に高塔山、南側に洞海湾に挟まれ自然豊かな地

域に位置している。また、かつて洞海湾周辺は公害の象徴であったが、それを克服してきた経緯があり、『環境教育』を柱の一つにしてはと考えている。」

《特色ある教育活動の例》

	地域の人・もの・ことを生かした教育	環境教育
1年生	みんなで つうがくろを あるこう みんなの こうえんで あそぼう むかしから つたわるあそびを たのしもう	いきものとなかよし (春・夏・秋・冬) を楽しもう どんぐり銀行～どんぐりを育てよう
2年生	まちたんけんに行こう まちの人と なかよくなろう まちの すてきを つたえよう	生き物を さがしに行こう 生き物を そだてよう やさいを そだてよう
3年生	たんけん くきのうみ(若松・北九州)のまち すてきな若松をじまんしよう むかしの道具を使って	山の自然を守ろう～高塔山自然調査隊 わたしたちのまちの工場～シャボン玉石けん
4年生	心のバリアフリー・ともに生きる 年長者へのお手紙 久岐の浜清掃活動	海の自然を守ろう～くきのうみ環境調査隊 環境アクティブラーニング
5年生	りんごの皮むき体験 キャリア教育「夢授業」 ミニミニ保育士になろう	自然教室～玄海青年の家 公害の街から星空の美しい街へ 環境首都検定
6年生	ふるさと若松再発見 年長者との給食交流	SDGs 世界の環境問題 環境首都検定

★ その他（校舎位置検討部会報告） ★

11月2日に行われた第1回校舎位置検討部会について、部会長から次のような報告がありました。

- ① 活発な議論が行われたが今回は結論には至らなかった。
- ② 今後、第2回の部会を開催し、その結果についてはまた、統合準備委員会で報告する。

《次回の開催について》

次回の統合準備委員会は、12月に開催する予定です。

《発行者》：修多羅小学校・古前小学校統合準備委員会  
（事務局）北九州市教育委員会事務局総務部企画調整課  
（学校規模適正化担当）

〒803-8510

北九州市小倉北区大手町1-1 小倉北区役所庁舎東棟6階

TEL：093-582-2357 FAX：093-581-5871

企画調整課HP：<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/kyou-kikaku.html>

